

各会計の決算状況

(単位:千円)

会計		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計		27,280,796	27,099,910	180,886
特別会計	国民健康保険特別会計	4,877,187	4,876,242	945
	介護保険特別会計	5,223,495	5,144,849	78,646
	後期高齢者医療特別会計	757,562	736,051	21,511
	公園墓地整備事業特別会計	7,625	3,111	4,514
	産業団地整備事業特別会計	378,513	62,684	315,829
企業会計	水道事業	1,026,049	1,181,667	△ 155,618
	下水道事業	1,852,507	1,974,152	△ 121,645
	病院事業	4,481,004	4,741,667	△ 260,663

一般会計の決算概要

1. 収支決算

一般会計の決算額は、歳入 272 億 8,079 万 6 千円（前年度 279 億 7,805 万 5 千円）、歳出 270 億 9,991 万円（前年度 272 億 9,099 万 6 千円）で、歳入歳出差引額は、1 億 8,088 万 6 千円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき財源 8,161 万 9 千円を差引くと、実質収支は 9,926 万 7 千円の黒字となりました。

2. 歳入

歳入予算科目	決算額(千円)	構成比(%)	一人当たりの 決算額(円)
市税	7,076,901	25.9	169,336
地方譲与税	166,472	0.6	3,983
利子割交付金	3,007	0.0	72
配当割交付金	55,027	0.2	1,317
株式等譲渡所得割交付金	58,553	0.2	1,401
法人事業税交付金	127,367	0.5	3,048
地方消費税交付金	1,060,658	3.9	25,379
ゴルフ場利用税交付金	70,936	0.3	1,697
自動車取得税交付金	1,697	0.0	41
環境性能割交付金	30,893	0.1	739
国有提供施設等所在市町村交付金	34,360	0.1	822
地方特例交付金	90,713	0.4	2,171
地方交付税	4,212,093	15.4	100,787
普通交付税	3,675,654	13.5	87,951
特別交付税	536,439	1.9	12,836
交通安全対策特別交付金	4,590	0.0	110
分担金及び負担金	77,516	0.3	1,855
使用料及び手数料	275,615	1.0	6,595
国庫支出金	3,304,555	12.1	79,072
県支出金	1,784,531	6.6	42,700
財産収入	17,862	0.1	427
寄附金	6,006,450	22.0	143,723
繰入金	552,285	2.0	13,215
繰越金	687,060	2.5	16,440
諸収入	572,855	2.1	13,707
市債	1,008,800	3.7	24,139
歳入合計	27,280,796	100.0	652,776

3. 歳出

目的別区分	決算額(千円)	構成比(%)	一人当たりの 決算額(円)
議会費	164,785	0.6	3,943
総務費	6,045,229	22.3	144,650
民生費	7,878,064	29.1	188,506
衛生費	2,164,522	8.0	51,793
労働費	50,370	0.2	1,205
農林水産業費	1,424,616	5.2	34,088
商工費	893,455	3.3	21,379
土木費	1,860,881	6.9	44,527
消防費	782,342	2.9	18,720
教育費	2,220,688	8.2	53,137
災害復旧費	1,007	0.0	24
公債費	2,017,545	7.4	48,276
諸支出金	1,596,406	5.9	38,199
歳出合計	27,099,910	100.0	648,447

性質別区分	決算額(千円)	構成比(%)	一人当たりの 決算額(円)
人件費	3,787,318	14.0	90,623
物件費	3,970,057	14.7	94,996
維持補修費	539,686	2.0	12,913
扶助費	4,587,574	16.9	109,771
補助費等	7,382,207	27.2	176,642
普通建設事業費	1,716,475	6.3	41,072
災害復旧費	1,007	0.0	24
公債費	2,017,545	7.4	48,276
積立金	1,596,406	5.9	38,199
貸付金	176,600	0.7	4,226
繰出金	1,325,035	4.9	31,705
歳出合計	27,099,910	100.0	648,447

加西市の財政指数

年度	財政力指数	経常収支比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和5年度	0.628	96.8%	10.1%	－ (△32.0%)
令和4年度	0.634	94.9%	9.3%	－ (△22.0%)
令和3年度	0.645	90.4%	8.5%	4.5%
令和2年度	0.662	93.9%	8.1%	46.6%
令和元年度	0.657	93.8%	7.6%	69.4%
平成30年度	0.652	91.8%	7.9%	72.7%
平成29年度	0.643	92.5%	8.0%	76.9%
平成28年度	0.637	94.4%	9.3%	68.6%
平成27年度	0.625	87.8%	10.3%	61.6%
平成26年度	0.620	89.9%	12.4%	66.5%
平成25年度	0.603	88.5%	14.2%	74.5%
平成24年度	0.592	89.4%	15.8%	78.4%
平成23年度	0.597	87.2%	17.1%	103.7%
平成22年度	0.606	87.8%	18.6%	120.0%
平成21年度	0.623	91.1%	20.3%	153.2%
平成20年度	0.621	93.5%	20.8%	172.9%
平成19年度	0.611	96.5%	20.8%	183.8%
平成18年度	0.594	89.3%	21.1%	－
平成17年度	0.588	90.5%	19.0%	－
平成16年度	0.591	89.7%	－	－
平成15年度	0.6	87.1%	－	－
平成14年度	0.598	88.0%	－	－
平成13年度	0.597	86.3%	－	－
平成12年度	0.614	85.4%	－	－
平成11年度	0.652	84.0%	－	－
平成10年度	0.669	87.1%	－	－
平成9年度	0.67	89.7%	－	－

【用語説明】

財政力指数

財政力を示す指標であり、普通交付税の算定で算出した基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値の過去3年間の平均値。この指標が高いほど財政力が強くなります。

経常収支比率

財政構造の弾力性を判断するための指標。毎年度経常的に支出される経費（人件費、扶助費、公債費等）に充てられた一般財源の額に対する、毎年度経常的に収入される一般財源（地方税、普通交付税等）の割合。この指標が小さいほど臨時の財政需要に充当できる財源が増えるので、財政構造が弾力的であるといえます。

実質公債費比率

公債費や公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額（普通交付税が措置されているものを除く）が標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを過去3年間の平均値で表します。この指標が18%を上回ると、地方債を発行する際に事前に県の許可が必要となり、財政運営の自由度が低くなります。

将来負担比率

市の全会計・一部事務組合・広域連合・地方公社・第3セクターが払わなければならない返済金のうち、市の一般会計等が抱える実質的な負債の残高が標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを示す指標。この指標が小さいほど、将来の世代で実質的な負債を返済していく割合が小さくなります。